

議会報告会実施報告書

開催日時	平成29年4月24日 19時00分 ～ 20時45分
開催場所	川津公民館
出席議員	(班長) 東山光徳 (司会) 出田泰三 (記録) 出田泰三 (副議長) 村井孝彦 (班員) 東原 章, 茨 智仁, 野角満昭, 吉田耕一
参加市民数	29人 (男性27人, 女性2人)
実施内容	<p>議会報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会挨拶 東山光徳 ・出席議員自己紹介 ・委員会報告 <ul style="list-style-type: none"> 予算概要 野角満昭 総務消防委員会 吉田耕一 教育民生委員会 茨 智仁 市民建設委員会 東原 章 議会改革のあゆみ 村井孝彦 ・質疑応答 ・意見交換会 ・閉会挨拶 東山光徳
	<p>質疑応答</p> <p>〈質疑〉 市長の政治方針を聞いたが、具体的にどういうことができたのか？</p> <p>〈回答〉 従来の総合戦略に代わる「まちづくり基本構想」を策定。市長が色々な所で話している基本的な事、「住みたいまち」等6項目を書いている。これに従って具体的な政策を作り、今後10年間の、坂出の街を将来こうしなければならないという風な形を表している。今どういう効果が出ているかと言えば、具体的にはまだこれからという事だろうと思う。</p> <p>〈回答〉 基本構想は去年から開始だが、即1年目で何か成果が出るようなものではなく、10年後の将来を見据えて、急ぐものは急ぐ、じっくりやるものはじっくりやるという計画だということをご理解いただきたい。</p> <p>〈質疑〉 それは分かるが、今に始まった話ではない。坂出は衰退の一途。発展がまるでないし、見込めない。議員も何を考えているのか全く分からない。もっと危機感を持ってほしい。</p> <p>〈回答〉 課題はやはり人口減で、市長を始め議員全員も認識している。まちづくり基本構想に加え、グランドデザインに従って、今年度は立地適正化計画を立てて具体的に進めて行く。本市の有利点を見極めて</p>

内外にアピールし、活気を高めていきたい。もう少し様子を見ていただけたらありがたい。

〈質疑〉 幼稚園の給食。川津の場合は平成 30 年度から実施か。

〈回答〉 坂出中央幼稚園の場合は、たまたま給食を調理する東部小学校との委託契約が、平成 29 年度が更新年度だった。今後、平成 30 年、31 年度にわたって更新する学校があり、おそらく 30 年度更新の学校はできると思うが、川津は確か 31 年度。その場合、残り 1 年間の違約金を払ってまで 30 年度から一斉にするかどうかは、9 月から始まる中央幼稚園の状況を見ながら判断するという答えだった。

教育民生委員会は極力 30 年度からスタートするようにと市教育委員会へ強く要望したが、どこまで反映されるかは不明。現段階ではお答え出来ない。

意見交換

〈質疑〉 認定こども園。坂出一高幼稚園が本年 4 月から、来年 4 月からはルンビニ幼稚園が開園。予算はすごく大きいですが、なぜそれだけの予算が必要なのか？

〈回答〉 認定こども園は国からの予算が、申請窓口の本市を通じてそのままそっくり園に支給される。本市はプラスもマイナスもない。

〈質疑〉 私立保育所も同様か？

〈回答〉 同じ。

〈質疑〉 本市のがん検診、受診者数やどの程度の予算か教えて。

〈回答〉 受診者数は確か 2 割 5 分を切っている。がん検診委託料は 466 万円。今年から受診率アップのために自己負担額を下げ、人間ドックの個人負担額 1 万 8,000 円、胃がんの内視鏡検査の場合で 2 万円の定額にして受診率向上に努めている。

〈質疑〉 菖蒲まつり、二、三日前、にぎわい室から今年の予算は元通り（平成 27 年度並）の予算額でお願いしたいと言われた。

連合自治会としては昨年度並みを見込んでいたのだが。他のイベント予算は、市制 75 周年の非常に大きな予算とっている。復活できないのか。

〈回答〉 その話は初めて知った。私は基本的に去年の予算が普通だと思っているので、それはにぎわい室に聞きたいと思う。

〈逆質問〉 減額の理由は何か聞いているか。

〈回答〉 聞いていない。市制 75 年で何百万も使うのなら、たかが数十万の予算。

去年は増額したが、それでも 5 万値切ってきた。

〈発言〉 市全体で財政難の中、厳しくなっている。

〈要望〉 即答は期待していない。後は、議員の力で復活してほしい。

〈質疑〉 保育所の待機児童の問題。坂出も待機児童かなりいるのではないかと思うが、川津も聞くところによるとかなり増えているようだ。申し込みがあっても保育所の待機児童は、保育所から幼稚園へ上がらずに保育所で過ごす子が多いため、待機児童が増えて解消できない。

〈回答〉 待機児童、本市の場合ここ数年はゼロ。ただ、保育所に入れる条件として、家庭で見る保護者等がいる場合や、兄弟が公立幼稚園に行っている場合は中々難しい。

〈回答〉 保護者が家にいて無職の場合は入れてくれない。これから働こうと思っているという場合はだめ。

〈質疑〉 川津の場合、今5人いると聞いた。川津は満杯。

〈回答〉 愛児園は待機児童いないと言われているが、入れなかった事例はある。基本的には、今言った条件を満たす必要があるが、本市は私立・公立の保育所全部の包含数でゼロとしている。だから愛児園がだめだったら、どこかへ振って、行ける人にはそちらへ行ってもらおう。

〈回答〉 待機児童の定義については色々問題になっている。川津が一杯だから他の保育園へ行ってくれという通知が出たにも関わらず、やっぱり「行けない」「行かない」となると、待機児童には含まれない。そういう事例はある。

〈質疑〉 よそから入ってくる子供がいるのに、近くに住んでいて何故近くの保育所に入れないのか。

行政は出来るだけ地元の子は地元へ入れることをまず優先し、それでも入れない場合は仕方ないと思うが。何か対策を考えないと、他の街へ逃げてしまう。

〈回答〉 おっしゃる通り。これからは保育所間の児童の偏在が問題なので、その点は理事者側にしっかりと伝える。

〈質疑〉 介護施設。坂出市内の施設に入所しようとした場合、申し込みから入所まで大体3年くらいかかると言われ、なかなか入れない。どうしてか。昔は施設へ入居する場合の資格審査は市が行っていたが、今は施設側が入居者を選定。施設を認定する際、国・県・市が大体7～8割くらい助成金出していると思う。選定の際に市も一部参加できないかと思うが、どうか。

〈回答〉 特別養護老人ホームの場合は、認定が非常に厳しくなってなかなか入れない。特養も含めた全ての介護施設という事で話をすると、何年も待たなければならないというのは、なかなか理解ができない。今年度から特に介護と医療の連携を行政が始めた。今、介護施設に入

るのは医療関係のケアマネジャーと医師が3カ月に1回くらい会議をして申込者について協議している。そういう資格のある第三者で公平に振り分ける事を、今後ますます、きちんとやっていくようになる。

〈質疑〉 それは認定の問題。認定を受けて施設に入ろうという場合、希望する市内の施設に入ろうとしても満杯で入れない、順番待ち。

〈回答〉 希望する施設に限定されるとなかなか厳しくなるかも知れない。だから全体的に見てもらえば入れる所はあるのではないか。

〈質疑〉 いや、満杯で入れないところはあると思う。

〈回答〉 その辺、理事者の方に伝える。

〈質疑〉 瀬戸大橋まつり。私達を始め、太鼓台を出しているところはどこも費用がかかっている。補助金が当初は50万円だったが今は減額されている。増額できないか。

〈回答〉 去年も出た。これを今まで50万円出していたから一気に100万円にしてくれというのは、予算の面から厳しい。イベント全体をどう考えるということを含めて、見直してみてもという意見等、色々あるので、理事者側には伝えたいと思う。

〈質疑〉 4月22日、讃岐富士の日、丸亀にかなり負けている。もう少し坂出も力を入れて、駐車場もいつでもどうぞと言うふうに確保して、丸亀からじゃなく坂出から登れるようにしてほしい。

それから、子供達という人材はある。子供達が一生懸命競う瀬戸大橋駅伝もマラソン大会も、後のオリンピック選手出そうかという目標があるが、尻切れトンボ。種はあっても畑（施設）がない。丸亀、観音寺、綾南、屋島にはある。もう少し本市を盛り上げるのであれば、良い選手作れば盛り上がる。畑を作って欲しい。

〈回答〉 今年、両市と両市の観光協会が入って、登山道の整備や色々な施策を進めている。3月には登る環境を坂出側も整えようという事で道の整備、それに駐車場の借上げの調整もしたが、これも予算の関係で今止まっている。ただ、上の公園だけでは足りないというので、丸亀のような大きな敷地はないけれど、登山環境は少しずつ改善させていきたい。

〈質疑〉 マンション暮らしで産休をとっている若い母親（ご主人も帰宅が遅い）から、子育てしているとストレスが溜まる、この辺りでママ友になれる人いませんかと聞かれる。子育てに困っているお母さん・お父さんのための支援策を。

〈発言〉 川津地区では民生委員が担当して第三水曜日に子育てサークルを長年実施。老人憩いの家で10時から12時まで。パンフレットが

必要であれば、住所と名前を教えていただければポストに入れる。(民生委員に対して市は、赤ちゃんの出産情報は個人情報という事で教えてくれない)。

〈回答〉 西部でもドーナツクラブというのがあり、30人弱ぐらいのママ友がクリスマスパーティーしたり、夏はプールへ行ったり、皆で子供を見守りながらやっている。民生児童委員(ふくし課)の主催で他にもあると思うが問題はやはりPR不足。

〈回答〉 こども課にも子育て支援のパンフレットがある。その中に、色々な活動が書いてある。